



# 静岡県のみちづくり

2025



2028



静岡県交通基盤部道路局  
令和8年3月

# 目 次

<b>1 はじめに</b> .....	P2
背景と目的	
計画の位置付け	
計画の構成と期間	
<b>2 道路を取り巻く環境</b> .....	P4
社会情勢・地域課題の変化	
地域の声	
<b>3 道路ビジョン</b> .....	P6
基本方針	
施策の進め方	
<b>4 道路重点計画</b> .....	P8
施策体系	
重点施策と取組内容	
施策の進捗評価	
<b>5 主要整備箇所図</b> .....	P17

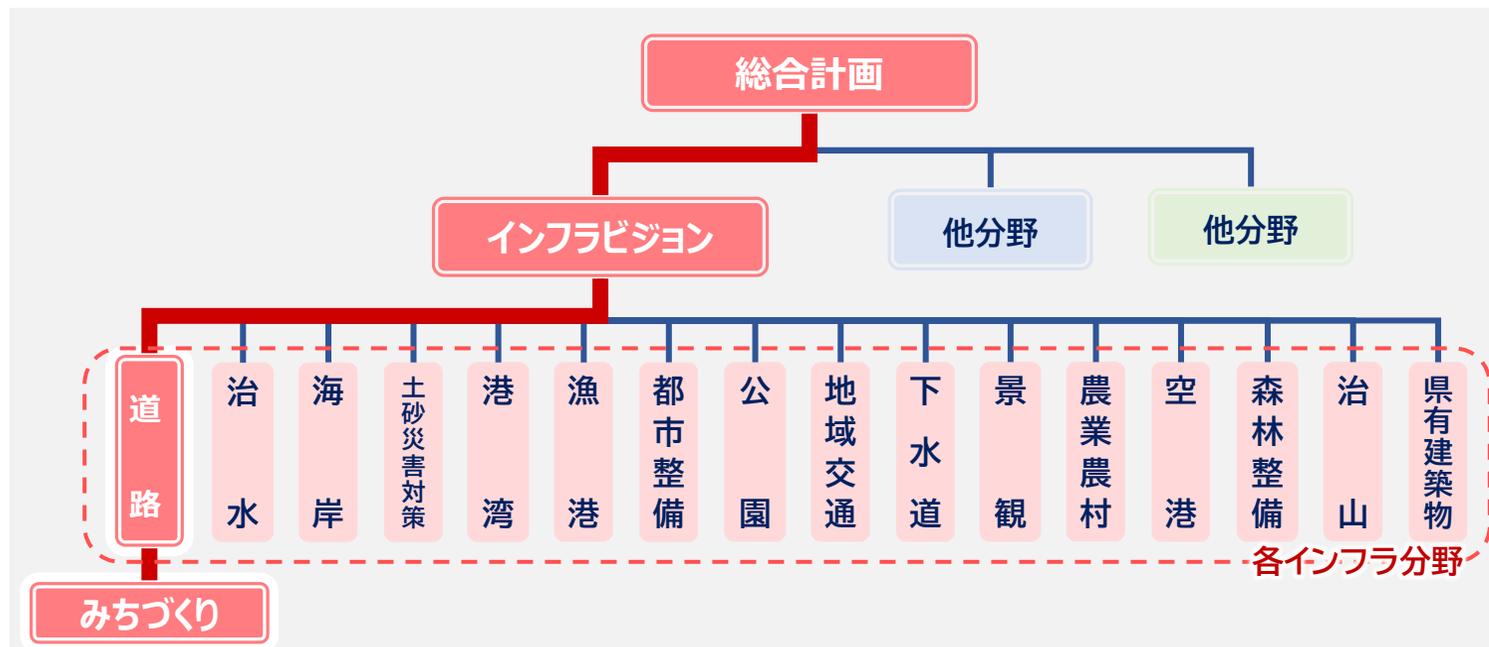
# 1. はじめに

## 背景と目的

- 静岡県は、高速道路から生活道路まで様々な“みちづくり”に関する取組を推進しています。
- 人口減少が進む中、本県の経済成長を実現するためには、人やモノの移動を円滑にする道路ネットワークを構築していくことが不可欠です。
- 前計画の4年間では、伊豆縦貫自動車道河津下田道路Ⅱ期(河津七滝IC～河津逆川IC)や金谷御前崎連絡道路(菊川IC～倉沢IC)といった高規格道路の開通による県内産業の発展、歩道やサイクリングルートを整備などによる暮らしの豊かさの実現に貢献してきました。
- また、橋梁の耐震化や無電柱化などの道路の強靱化、道路施設の維持管理を適切に実施することで、安心・安全な生活の基盤整備にも貢献してきました。
- 近年では、自然災害の激甚化・頻発化が、より一層進み、2024年には能登半島地震が発生し、多くの人命や家屋、ライフライン等に甚大な被害をもたらすなど、防災対策の重要性がますます高まっています。
- また、2025年1月には埼玉県八潮市において、下水道管路の破損に起因する大規模な道路陥没事故が発生し、インフラの老朽化対策の必要性が再認識されました。
- 今回、このような社会情勢や道路を取り巻く環境の変化、上位計画となる静岡県の総合計画やインフラビジョンを踏まえ、今後、県が進める道路政策の方向性を示す「静岡県のみちづくり」を策定しました。
- 新たな県総合計画の目指す姿である「幸福度日本一の静岡県」の実現に向けて、引き続き、“みちづくり”を推進してまいります。

## 計画の位置付け

- 「静岡県のみちづくり」は、静岡県の総合計画と社会インフラ全体の計画である「静岡県インフラビジョン」を上位計画とする道路分野における個別計画です。



## 計画の構成と期間

- 道路事業は完成までに長い期間を要することから、「静岡県のみちづくり」は、中期的な視点を取り入れ、概ね10年間の方向性を示した「道路ビジョン」と、その達成に向けた4年間の具体的取組を示す「道路重点計画」から成ります。

2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	
道路重点計画(4年間)				道路ビジョン(概ね10年間)							

## 2. 道路を取り巻く環境

### 社会情勢・地域課題の変化

社会情勢・地域課題	道路を取り巻く状況
<b>従前から継続しているもの</b>	
インフラ老朽化の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設後50年以上となる県管理道路の橋梁が全体の約6割(R6:1,954橋)</li> <li>・維持管理費用の増加</li> </ul>
頻発する交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口10万人あたりの事故発生件数 全国ワースト1位(R6:495件)</li> </ul>
人口減少・少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済規模の縮小、労働力不足、地域社会の担い手の減少</li> <li>・交通量の減少、高齢者ドライバーの増加</li> </ul>
<b>従前からの更なる変化</b>	
持続的な経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化においても、力強く持続的に経済が発展する基盤の構築が必要</li> </ul>
自然災害の更なる激甚化・頻発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化、気候変動に伴う異常気象(竜巻、短時間強雨等)の発生回数の増加</li> </ul>
2050カーボンニュートラルの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への意識の高まり、国内CO2排出量の16%を占める道路分野</li> </ul>
DX・AI技術の急速な進展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな技術を用いた業務の効率化・省力化の動き</li> </ul>
<b>新たな変化</b>	
「能登半島地震」の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半島防災の重要性の高まり</li> </ul>
アフターコロナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らし方、働き方、価値観、行動様式の変化</li> </ul>
訪日観光客の回復・増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーツーリズムによる地域住民の生活への影響や旅行者の満足度の低下</li> </ul>
物価や労務費の高騰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算不足の加速化の懸念（実質的な事業量の減少）</li> </ul>
物流の2024年問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流拠点の機能強化や自動運転など物流の効率化の取組が拡大</li> </ul>
国による新たな道路施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「WISENET2050・政策集」策定（R5.10 国土交通省道路局）</li> <li>・道路法改正(R7.4公布)(能登半島地震を踏まえた災害対応の深化 ほか)</li> <li>・「第1次国土強靱化実施中期計画」閣議決定(R7.6)</li> </ul>

## 地域の声

- 道路利用者の声を聞くためにアンケート調査を行いました。

質問例) 今後のような分野の道路施策に力を入れてほしいと思いますか。			
区分(対象者)	第1位	第2位	第3位
<b>県政インターネットモニターアンケート</b> (県内に在住又は通勤・通学している満15歳以上の方)	地震や津波、大雨等の災害対策	安全な歩行空間の確保	すれ違いが困難な幅の狭い道路や急カーブの改良
<b>「こえのもりしずおか」</b> (こどもや若者(30歳未満)からの意見を聴くためのオンラインプラットフォームによるアンケート)	安全な自転車利用環境の確保	地震や津波、大雨等の災害対策	すれ違いが困難な幅の狭い道路や急カーブの改良

- 有識者から道路施策に関するご意見を頂きました。【静岡県道路技術審議会(R6.9、R7.9)】

項目	内容
ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな道路の開通により、走行時間の短縮など大きな効果が出ている。県民の理解を得るためにも、整備効果を示すことが重要</li> <li>• 渋滞に巻き込まれた経験から代替路の重要性を感じた。リダンダンシーの確保が必要</li> </ul>
防災・減災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害時の電柱倒壊や景観の観点から無電柱対策を推進していくと良い</li> </ul>
交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩道の拡幅、区画線の引き直し等、歩行者、自転車、自動車の走行空間の分離が必要</li> <li>• 沿道から草や木が道路に伸び、歩行者にとっても危険となるため対策が必要</li> <li>• 幹線道路が渋滞していると、スピードを出した車両が生活道路に入ってくる。このため、生活道路の速度抑制と併せ、幹線道路の渋滞対策も必要</li> </ul>
老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 老朽化した施設が増え続けているため、適切な対策が必要</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩道で食事や休憩ができるような、豊かで美しい道路空間が整備されると良い</li> </ul>
地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路分野でも夏の酷暑対策ができると良い</li> </ul>

# 3. 道路ビジョン

## 基本方針

- 静岡県総合計画が目指す「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、道路を取り巻く課題を克服するため、今後10年間を見据えた道路施策の基本方針を定めました。

- 県民生活の土台となる「みちづくり」を推進し、県民の安定した豊かな暮らしを支え、ウェルビーイング※の向上を図ります。
- 3つの基本方針に加え、多様な主体との連携やデジタル技術の活用による生産性の向上など、「共創」の取組を推進することで、計画を深化させていきます。

### 基本方針

1

#### 地域の活力・交流を高める みちづくり

ヒトやモノの移動を支え、地域経済の発展や交流を促進する道路施策を推進

### 基本方針

2

#### 安全・安心な生活を支える みちづくり

命を守り、誰もが安全に安心して利用できる道路施策を推進

### 基本方針

3

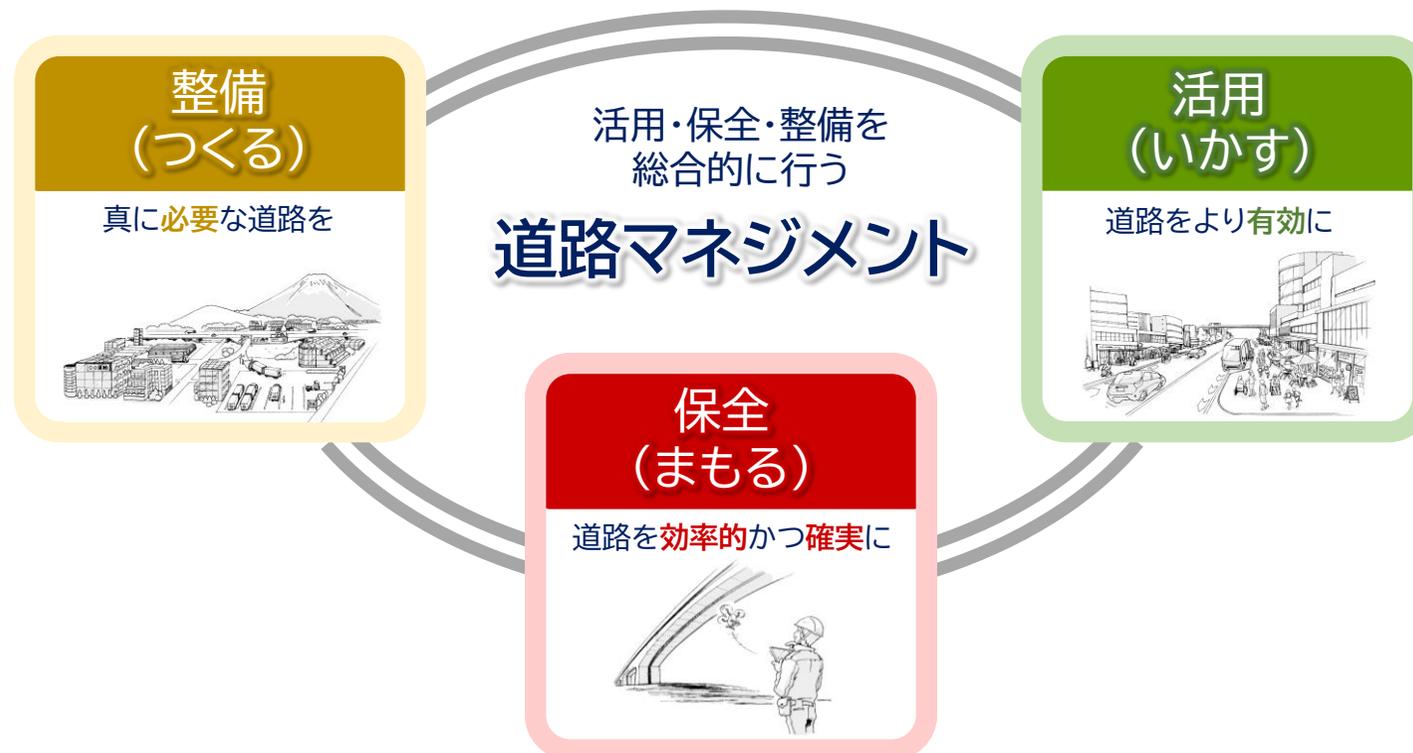
#### 豊かな暮らしを創出する みちづくり

景観や環境に配慮し、豊かで快適な暮らしを創出する道路施策を推進

※ウェルビーイング(Well-being)：身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態

## 施策の進め方

- 限られた予算で効率的かつ効果的に道路を整備するとともに、適切な維持管理に取り組むなど、事業の**選択と集中**を進めます。特に**広域道路ネットワーク**を構築する高規格道路等の整備や道路の**強靱化**、施設の**長寿命化**を確実に進めます。
- 県民や産学官などの多様な主体との連携や、DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用による生産性向上など、「**共創**」の取組を推進します。
- インフラのストック効果が最大限発揮できるよう、活用、保全、整備のバランスをとる「**道路マネジメント**」を推進します。



# 4 道路重点計画

## 施策体系

### 道路ビジョン

### 道路重点計画

#### 基本方針

#### 重点施策

#### 取組内容

基本方針 1

地域の活力・  
交流を高める  
みちづくり

地域経済の発展や交流を  
促進する道路整備

- 高規格道路の整備・促進
- 高規格道路や物流拠点等へのアクセス道路の整備
- 広域的な道路ネットワークの整備
- 中山間地域と市街地を結ぶネットワークの道路幅員確保、改良

渋滞緩和のための道路整備

- 渋滞箇所の4車線化やバイパス道路の整備など
- 交差点改良やラウンドアバウトの整備
- 地域活性化を図るスマートICの整備促進

基本方針 2

安全・安心な  
生活を支える  
みちづくり

自然災害から地域を守る道路の強靱化

- 災害に備える橋梁の耐震対策や道路法面・盛土の防災対策
- 防災上重要な道路の無電柱化の推進
- アンダーパス等の冠水対策
- 能登半島地震の教訓を踏まえた防災対策

交通事故を未然に防止する道路整備

- 通学路などの交通安全対策
- 安全な自転車通行空間の整備
- 交差点などにおける事故防止対策

安全・安心な通行を確保する  
道路施設の効率的な維持管理

- 道路施設の長寿命化
- 点検ロボットやAI等による点検診断支援の活用
- 地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ※)の推進
- 道路占用者と連携した道路陥没等の未然防止

基本方針 3

豊かな暮らしを  
創出する  
みちづくり

生活の質を向上させる道路空間の創出

- 歩行者利便増進道路、アダプト・ロード・プログラムの推進
- 快適な歩行空間の整備
- 防草対策の実施
- サイクリングルート of 整備

景観に調和した道路整備

- 景観形成上重要な道路の無電柱化の推進
- 周辺と調和した道路施設の整備・改善

環境に優しい道路整備

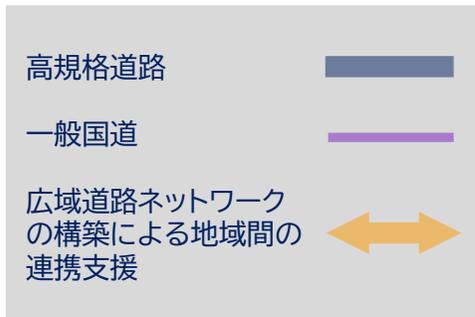
- 富士山の登山道区間のマイカー規制の取組
- 道路照明灯のLED化などの道路脱炭素化の推進

共創

多様な主体との連携・DX推進

# 静岡県内の将来像(将来道路ネットワークのイメージ)

- 道路は、物流や交流を支え、県民の安全・安心、豊かな暮らしを守るための基盤です。ネットワークの整備に加え、基本方針に沿った道路施策を県下全域で展開していきます。



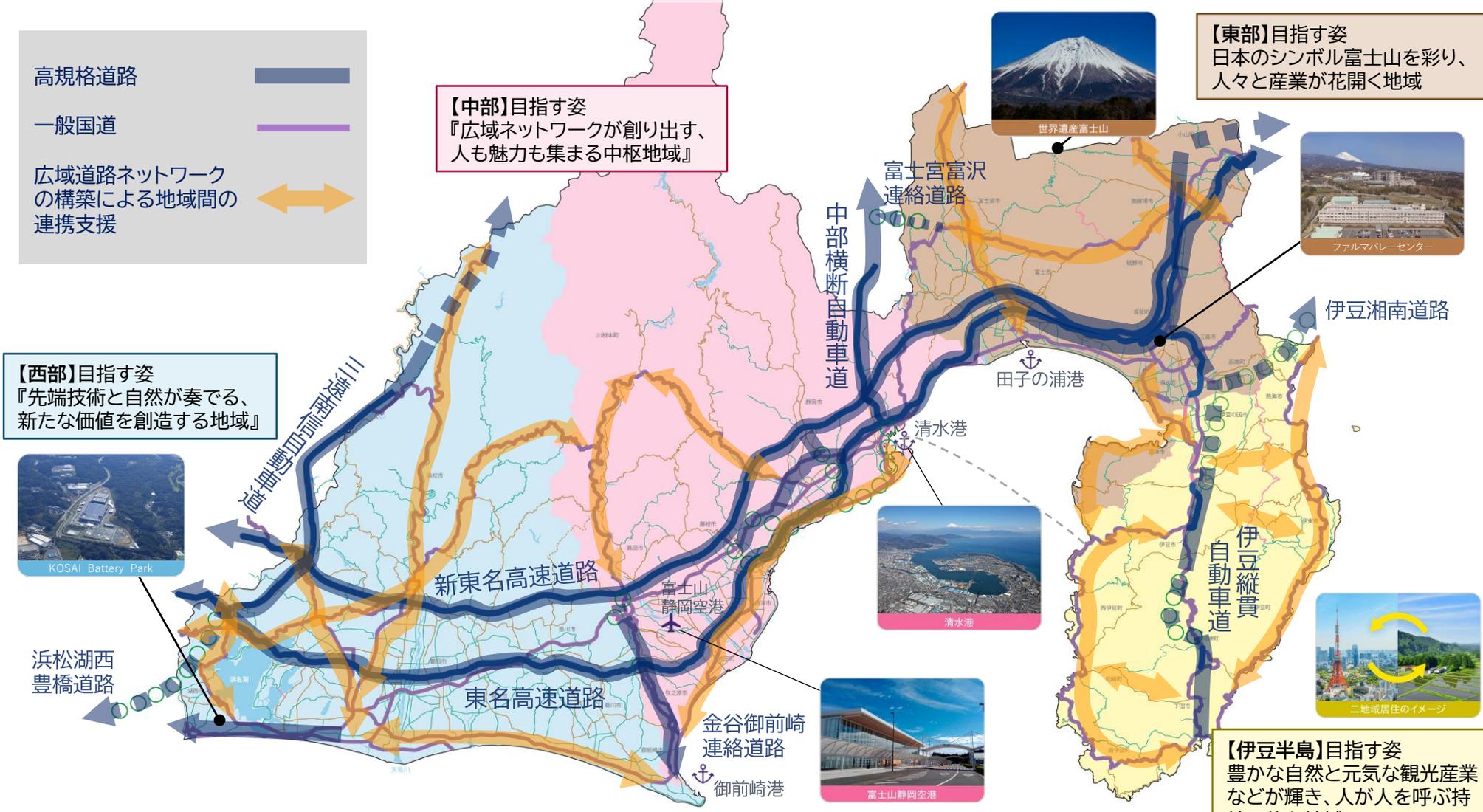
**【西部】目指す姿**  
『先端技術と自然が奏でる、新たな価値を創造する地域』



**【中部】目指す姿**  
『広域ネットワークが創り出す、人も魅力も集まる中枢地域』



**【東部】目指す姿**  
日本のシンボル富士山を彩り、人々と産業が花開く地域



**【伊豆半島】目指す姿**  
豊かな自然と元気の観光産業などが輝き、人が人を呼ぶ持続可能な地域

地域経済の発展や交流を促進する道路整備

- 人口減少や物価上昇が進行する中、生産性の向上や企業立地の促進、観光交流の拡大などに寄与する道路整備を推進します

POINT ▶ 高規格道路の整備・促進



伊豆縦貫自動車道(河津下田道路Ⅱ)



金谷御前崎連絡道路(島田市)

POINT ▶ 広域的な道路ネットワークの整備



国道150号(磐南バイパス)

POINT ▶ インターチェンジ等へのアクセス道路の整備



県道大岡元長窪線(長泉町)



国道469号(御殿場バイパス)

TOPICS 道路整備による経済効果事例

中部横断自動車道 山梨～静岡間 開通3年後の効果



## 渋滞緩和のための道路整備

- 道路の交通渋滞の解消を図るために、長大橋の整備、交差点改良等のハード対策や、交通管理者と連携した信号の最適化の検討等のソフト対策を進めます

**POINT** ▶ 渋滞箇所の4車線化やバイパス道路の整備など



**POINT** ▶ ラウンドアバウトの整備



交差点改良(国道150号 御前崎市)



バイパス整備(国道414号 沼津市)

### TOPICS

ネーミングライツ※パートナーを募集しています

対象施設：県管理歩道橋  
契約期間：3～5年  
標示可能な愛称：会社名、商号、商品名

※県有施設に愛称(企業名等)をつけることができる権利



## 自然災害から地域を守る道路の強靱化

- 激甚化、頻発化する自然災害に備え、緊急輸送路などの重要道路の防災対策を推進します
- 道路を強靱化し、災害時の地域の孤立を抑制します

**POINT**

- ▶ 災害に備える橋梁の耐震対策や 道路法面・盛土の防災対策



落石防護工(国道135号 東伊豆町)



法面对策工(国道136号 西伊豆町)

**POINT**

- ▶ 中山間地域と市街地を結ぶ道路におけるすれ違い困難箇所の解消



道路拡幅( 県道焼津森線 掛川市)



橋脚補強(県道浜北袋井線 袋井市)



落橋防止(国道469号 富士宮市)

**POINT**

- ▶ アンダーパス等の冠水対策



エア一遮断機設置  
(県道掛川天竜線 森町)



調整池の整備  
(国道469号 裾野市)

## 交通事故を未然に防止する道路整備

- 依然として多発する交通事故への対策を推進します

**POINT** ▶ 通学路などの交通安全対策



歩道整備(国道42号 湖西市)

**POINT** ▶ 安全な自転車通行空間の整備



自転車通行帯整備(県道島田岡部線 藤枝市)

## 安全・安心な通行を確保する道路施設の効率的な維持管理

- 先端技術を活用し、効率的で効果的な維持管理を行います

**POINT** ▶ 道路施設の長寿命化



橋梁塗装  
(県道箱山伊豆長岡修善寺線)

舗装修繕  
(国道414号)

**POINT** ▶ 点検ロボットやAI等による点検  
診断支援の活用

共創



走行型計測車両を  
使用したトンネル点検

AIによる道路パトロール支援

## 生活の質を向上させる道路空間の創出

- 県民の豊かな暮らしを創出するため、既存の道路空間について再配分も含め最大限利活用することとし、誰もが快適に利用できる歩行・自転車通行空間の整備を推進します

### POINT ▶ 歩行者利便増進道路(ほこみち)の推進 共創



磐田駅前

ほこみちに指定すると…

- ✓ 歩行者のためになるモノを歩道におくことができます
- ✓ 道路を占有する者を公募できます
- ✓ 長期間の占有ができます

### POINT ▶ サイクリングルートの整備 共創



フジイチ(富士山一周サイクリングルート)の取組

- ✓ 矢羽根型路面表示等の設置
- ✓ 経路や距離に関する路面表示・案内看板の設置
- ✓ 主要な目的地を示す案内看板の設置

### POINT ▶ アダプト・ロード・プログラムの推進 共創 (地域との協働による道路の美化活動)



伊東市



湖西市

### POINT ▶ 防草対策の実施 (雑草が繁茂する箇所に防草シートやコンクリート等を設置)



張りコンクリートの設置(県道掛川浜岡線 掛川市)

## 景観に調和した道路整備

- 景観に調和した道路整備により、美しい道路景観を維持・形成します

**POINT** ▶ 景観形成上重要な道路の無電柱化の推進



電線類の地中化(国道135号 熱海市)

**POINT** ▶ 周辺と調和した道路施設の整備・改善



防護柵の更新(国道136号 松崎町)

## 環境に優しい道路整備

- カーボンニュートラルに向け、環境に配慮した道路施策を推進します

**POINT** ▶ 照明灯のLED化



**POINT** ▶ 富士山マイカー規制の取組



# 施策の進捗評価

評価指標 (定義)		基準値 (2024年度)	目標値 (2028年度)	他計画 関連指標	
基本方針1	地域の基幹となる道路の供用率	高規格道路等の計画区間(308.2km)のうち、供用した道路の割合	76.7% (236.3km)	80.2% (247.3km)	静岡県 総合計画
	高規格道路等へのアクセス道路の供用率	高規格道路や物流拠点等へのアクセス道路の計画区間(45.4km)のうち、供用した道路の割合	36.6% (16.6km)	47.8% (21.7km)	
	渋滞対策の実施割合	地域の主要な渋滞箇所(163箇所)のうち、交差点改良やバイパス道路の整備などの渋滞対策を実施した箇所の割合	33.7% (55箇所)	46.0% (75箇所)	
	ネーミングライツパートナーの契約数	歩道橋等の道路施設においてネーミングライツパートナーの契約を締結した件数	—	10件	
基本方針2	橋梁耐震対策の実施割合	緊急輸送路等の重要路線にある橋梁(711橋)のうち、耐震対策を実施した橋梁の割合	79.2% (563橋)	89.5% (636橋)	地震・津波 対策AP (※1)
	法面防災対策の実施割合	緊急輸送路上の事前通行規制区間内にある法面の要対策箇所(172箇所)のうち、法面対策を実施した箇所の割合	86.6% (149箇所)	93.6% (161箇所)	地震・津波 対策AP (※1)
	長寿命化工事に着手した道路施設の割合	道路の主要施設(橋梁・トンネル等)のうち、定期点検において、早期措置が必要と判定された施設の工事着手率	94.3%	96.2%	静岡県 総合計画
	通学路点検に基づく対策実施率	通学路合同点検結果に基づく要対策箇所のうち、交通安全対策を実施した箇所の割合 (※2)	87% (375箇所)	100% (431箇所)	
	区画線の引き直し延長	計画期間に視認性が低下した区画線(白色)の引き直しを実施した延長	—	800km/4年	
基本方針3	自転車通行空間整備率	市町の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路において自転車通行空間を整備した割合 (※2)	87% (69.9km)	100% (80.0km)	
	防草対策の実施率	除草対象箇所のうち、張りコンクリートや防草シート設置などの防草対策を実施した面積の割合 (※2)	64% (43万m <sup>2</sup> )	100% (67万m <sup>2</sup> )	
	道路照明灯のLED化率	LEDに更新した道路照明灯の割合 (※2)	74% (7,011基)	100% (9,500基)	
	低炭素アスファルト混合物の出荷割合	製造温度の低減によりCO <sub>2</sub> 排出量を削減した低炭素(中温化)アスファルト混合物を道路工事に出荷した割合	—	5%	

(※1) 「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」に示す2032年度末の数値目標に対する2028年度目標

(※2) 2028年度までの整備目標に対する割合

# 5 主要整備箇所図－道路改築－

2025～2028年度の4年間に整備を進める主要な事業箇所(道路改築)を示します。

**対象道路**  
 ・高規格道路、国道、県道 等

**掲載箇所**  
 ・2025～2028年度に実施する  
 広域道路ネットワークを構築する  
 主要な事業箇所

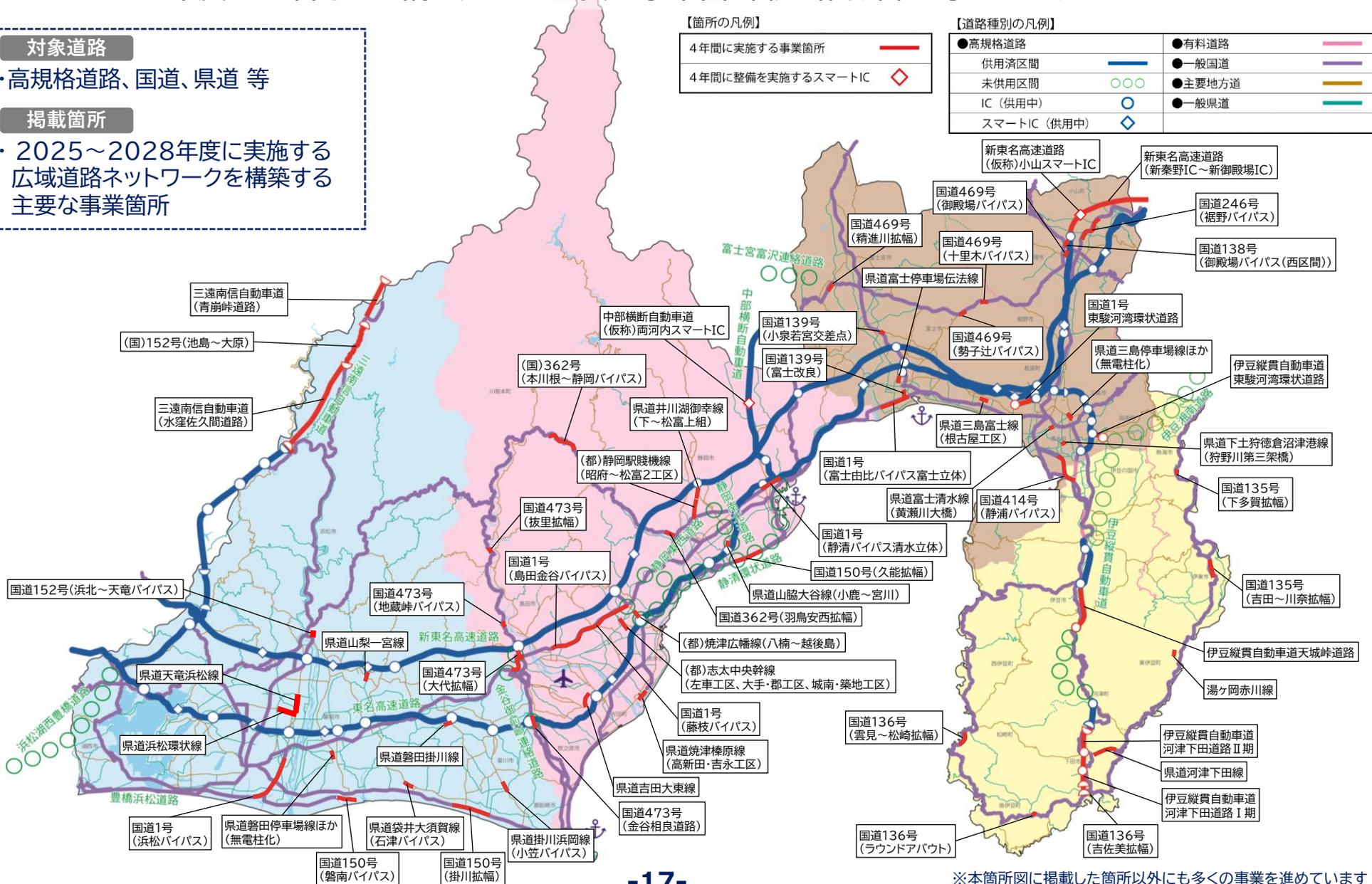
**【箇所の凡例】**

4年間に実施する事業箇所 —

4年間に整備を実施するスマートIC ◇

**【道路種別の凡例】**

●高規格道路	●有料道路
供用済区間 <span style="color:blue">—</span>	●一般国道
未供用区間 <span style="color:blue">○</span>	●主要地方道
IC(供用中) <span style="color:blue">○</span>	●一般県道
スマートIC(供用中) <span style="color:blue">◇</span>	







幸福度日本一の静岡県

**静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課**

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3013 FAX 054-221-3337

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/doro/1003525/index.html>